

Taka Gikai

多可町議会だより
2018年(平成30年)8月1日 第51号

野球



心ひとつに全員野球
8年ぶり初戦突破
—多可高校野球部—

6月定例会

- 多可町創生に向け次のステージへ ▶2
- ここが聞きたい 13人が一般質問 ▶6
- 議会改革をさらに進める ▶20

ずーつとずーつと多可町応援団



地域おこし協力隊
橋口若葉さん

一人で参加しても仲間がいるから安心して歩けます

町内外の多くの人との出会いや健康づくりのお手伝い、何より参加された人が多可町の新たな魅力を発見されるのがうれしいです

多可町には素敵な場所がたくさんありますね

ずっと住んでる私でも知らなかったわ



楽しく健康管理ができるのがええよね

地域おこし協力隊の橋口若葉さんに、健康ウォーキングをしながら話を聞きました。

橋口さんの目標は

できるだけたくさんの方に「参加していただきたいです。無理なく楽しく健康管理ができるメニュー満載ですので、まだの人もぜひ参加してください。

今後の抱負は

任期が切れる来年3月以降は、一般社団法人を立ち上げて健康ウォーキングを続けたいです。多可町の健康と観光交流に役立つよう、これからも頑張ります。

3年前に多可町に生まれ、一から健康保養地事業に関わり、その中心で活躍されています。今後も多可町で活動されることに感謝と共にエールを送りたいです。
(日原)

編集後記

「平成30年7月豪雨」は7月4日深夜から8日の午前中まで続き2000人を超える犠牲者が出ました。

平成に入って最悪の豪雨被害です。お亡くなりになられた皆様に対し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

今後は広域的な災害で、医療機関や消防が対応しきれない事態も想定されます。「自分たちの命は自分たちで守る」という取り組みを進めていかなければと痛感しました。

例えば医療、介護に携わってこられたOBの人などに協力していただき、経験を生かした活動をお願いしてはと思うのですが……。

まだまだ炎暑が続きます。こまめな水分補給を心掛け元気で乗り切ってくださいませ。

(笹倉)

多可町創生に向け 次のステージへ

平成30年6月4日から6月21日までの18日間の日程で、第85回多可町議会定例会を開催しました。定例会では、30年度補正予算案や国民健康保険税条例の改正案のほか、請願や議員発議による地域材の利用拡大推進を求める意見書など24案件が提案されました。慎重に審査した結果、少人数学級の推進と義務教育費国庫負担制度堅持のための請願は賛成少数で不採択となりましたが、その他の議案は原案のとおり可決・承認しました。

補正 新たな観光交流に向け

ひょうご地域創生交付金を活用して、地域住民の機動的な取り組みや、地域のポテンシャルを活かした観光資源の開発、新たな観光交流活動事業をします。



みんなの交流拠点
— エーデルささゆり —

健康保養地拠点施設 機能強化

エーデルささゆり 改修工事 1,922万円

傷んだ屋根やベランダ、トイレの改修工事とWiFi環境の整備です。

観光交流推進

道の駅杉原紙の里・多可 空調設備機能強化工事 600万円

古くなったエアコンを新しくして、快適な環境でお客様をもてなします。

観光交流協会

ホームページ作成 160万円

全面的にリニューアルし、多可町の観光交流をアピールします。

ホームページの作成は、観光客の増員に効果があるのですか。

町のホームページなどリンクして、多くの情報発信に努めます。

作成はこの業者に発注するのですか。

地域の絆の強化

コミュニティ助成事業 240万円

できるだけ市内の業者にと考えています。

地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指す事業です。中区茂利の屋台修理費です。

水道事業の基盤強化

水道事業の 経営効率化を調査 1750万円

広域連携や官民連携による水道事業の基盤強化に意欲的な自治体等の水道事業者を対象として、事業の効率化がどの程度可能かを、技術・経営両面から民間事業者などが調査・検討した上で、改善モデルを提示する事業です。

①費用の効率化
②※PPP/PFIの導入

③施設の統廃合
④用水供給事業の広域化
⑤IT機器を活用した管理運営

などを調査・研究して、水道事業の基盤強化に努めます。

※公共施設の建設、維持管理、運営などに民間の資金や経営能力、技術的能力を活用する手法

歳出 6月補正予算

款	6月補正	補正後の額
一般会計		
議会費	△13万円	9994万円
総務費	△2220万円	29億1890万円
民生費	1670万円	31億1752万円
衛生費	572万円	8億8828万円
農林水産業費	1673万円	8億6758万円
商工費	914万円	2億3894万円
土木費	△820万円	13億3386万円
消防費	△108万円	9億9232万円
教育費	1231万円	11億614万円
諸支出金	2万円	1億796万円
歳出合計	2901万円	137億4801万円
特別会計	244万円	57億1276万円
公営企業会計	2293万円	32億7141万円

* 予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。

工事請負契約

中町北小学校 北校舎ほか老朽改修工事 株式会社平尾工務店 8618万円

北校舎の屋上防水工事、外壁改修、建具、普通教室の床改修、LED照明化、すべてのトイレの洋式化工事や多目的トイレの設置などです。

第85回多可町議会定例会 賛否の公表 (全員賛成の議案は除く)

番号	案件名	清水俊博	吉田政義	門脇保文	廣畑幸子	山口邦政	門脇教蔵	大山由郎	市位裕文	日原茂樹	加門寛治	橋尾哲夫	笹倉政芳	藤本一昭	酒井洋子
議案第43号	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	平成30年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	地域材の利用拡大推進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
請願第1号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×

○印は賛成、×印は反対。賛否同数の場合は、清水議長が裁決します。

前年と大きく変動しないことを念頭に

国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の算定方法を変更します。課税限度額を58万円に引き上げ、減額対象になる判定所得基準を上げます。また、※応能割と応益割を50対50にします。

問 応能割と応益割が54対46から50対50になることで、低所得者の生活に影響が出るのでは。

答 兵庫県で一本化になったときに、スムーズに移行できるようにと考えての改正です。生活に大きく影響がないよう配慮しています。

※多可町の国民健康保険税は、加入者の収入に応じた「応能割」と、一律に計算する「応益割」を組み合わせることで決定します。

反対討論

低所得世帯が増税になる

門脇 保文
今回の条例改正は、子育て世代にとって減額で評価できますが、高額所得世帯の保険料7万2000円の減額に対し、低所得世帯は22000円増額、年金世帯も3900円の増額です。
無慈悲な改悪条例です。

賛成討論

増額世帯でも最小限での対応

山口 邦政
一人当たりの税額が前年と大きく変動しないことを念頭に、税率が県下一本になった時を見こして応能割と応益割が見直されました。増額になった世帯の1回の掛け金も2500円以下の増額。北播磨の自治体の中でも応益割は2番目に低いです。



見守られて過ごす子どもたち

放課後児童支援員への道広がる

放課後児童支援員の資格要件規定の改正

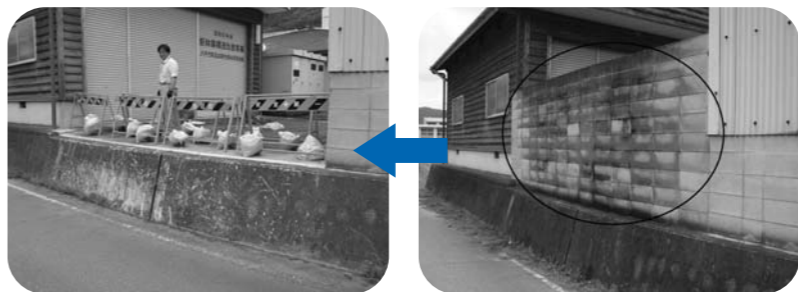
新たに、中学校卒業者にも基礎資格を拡大し「補助員として5年以上学童保育に従事した者で

あって、町長が認めたもの」は支援員になるための講習を受講できるようになります。
なお、支援員は各クラスに2人置かなければなりません。

安全を再確認するために

コンクリートブロック造などの塀を緊急点検

6月18日の大阪府北部地震では、倒壊したブロック塀が原因で、尊い命が奪われました。
町内の学校園や福祉施設、公共施設を緊急点検しました。早急に撤去などの対策をします。



八千代地域局

森林資源を活かして林業を成長産業へ

地域材の利用拡大推進を求める意見書が議員発議で提出され、賛成多数で可決しました。



木材をもっと使ってね

豊富な森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を実現するためには、安定供給体制の構築と、新たな木材需要の創出が重要です。そのため、次の項目を実現するよう意見書を国へ送付しました。

- ① 森林環境譲与税（仮）の活用に向けての情報提供や助言
- ② 木材利用施設への補助率、基準価格の見直し
- ③ 木質部材の技術開発や人材育成への支援拡充
- ④ 特性を活かした効果的な木材利用の検討検証
- ⑤ 木材産業の競争力の強化

反対討論

町の林業施策に合わない

加門 寛治
趣旨は良いのですが、「新たな森林管理システム」や「地域内エコシステム」は、何を言いたいのか意味が分かりません。また「木質バイオマス利用促進施設を整備し」とありますが、現在の多可町の実態と全く異なります。

賛成討論

加美ヒノキの需要拡大

門脇 保文
人工林の活用拡大推進は、今後の地域の山林における景観、環境、農業、健康、経済に大きく関わってきます。「加美ヒノキ」の需要拡大および産業育成、雇用促進、また災害防止および自然環境の循環、景観整備のためにも必要です。

「少人数学級の推進などの定数改善と義務教育国庫負担制度堅持のための2019年度政府予算にかかる意見書採択の要請について」の請願

「定数改善」と「国庫負担制度堅持」を分ける方が良いとの意見が出ましたが、切り離せないこととして採決しました。総務文教常任委員会では賛成無し、本会議では賛成少数で不採択となりました。

賛成討論

少人数学級は全体的な願い

山口 邦政
学校現場の諸課題は複雑化かつ多様化し、勤務時間が過労死ラインとなる教員が増加しています。多可町でも40人近い学級があります。子どもたち一人一人に対するきめ細やかな対応ができる環境が必要です。

きめ細やかな対応が必要

大山 由郎
生き生きとした人間づくり、心豊かな人間の育成、教育機会の均等など、全国どこに住もうとも、義務教育を受ける機会の保障、一定水準の教育を確保することは国の責務です。次世代を担う子どもたちにきめ細やかな対応が必要です。

反対討論

サポートする補助教員の充実を

日原 茂樹
発達障害を持つ子どもたちの増加もあり、正常な授業形態を維持することが大変なクラスも増えていきます。1クラスの人数にこだわるより、授業をサポートする補助の教員の充実や担任、学校や家庭との連携体制を整えることが大切です。



大山由郎議員

問 子どもの安全対策は万全か
答 子どもを守る取り組みを強化

教育長 ①小学生は集団登下校とし、子ども見守り隊、教職員、警察などの関係機関と連携し、登下校時の安全確保

大山 ①子どもの安全対策は、防犯の街づくりと共に進められてきました。また、家庭・地域・学校などの連携で「地域の子どもは地域で守る」ことができませんが、我が町の安全対策の現状と課題についてどのように捉えていますか。
 ②子どもの安全教育は、危機に際して自らの生命や体を守る安全基礎体力を身に付け、さらに他人の安全のために人と手を組める力を備えた住民に育成することですが、我が町の安全教育の目標は何ですか。
 ③子ども自身が危機を脱するには、危機回避能力と危機対応能力が必要で、その能力を高めるためにも「安全体験教育」を実施するべきです。



交通ルールを守ります

保をしています。子どもたちには、できる限り複数で行動するように指導をしています。子どもの数が減少する中、小学生が一人で下校をしなければならぬような地域が出ていることが課題です。

②学校では、子どもたちが学んだ知識をもとに日常生活の中に潜む危険を予測し、それを回避する力や直接危険と対峙した時に、自らの命や体を守る力を身に付けること、

自ら進んで安全で安心な町づくりに参加をし、人と協力をしながら社会に貢献できる力を育成することを目標としています。
 ③交通安全学習は、警察や安全協会の協力で、横断の仕方、自転車の安全な乗り方などの実施訓練をしています。
 不審者対応は、多くの事例を知識として学ぶだけではありません。学級活動や集会などで現実に起こる場面を想定し、事案が起こった時にどう対応するかを学ぶロールプレイング（疑似体験）手法などを取り入れながら、子どもの発達段階に応じた指導をしています。そして、教職員は青少年補導センターや警察などと連携して不審者対応訓練を実施し、子どもを守る取り組みをしています。

議会の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに町長と教育長に方針を問います。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。熱気あふれる発言の数々は本会議場でお聞きください。傍聴をお待ちしています。

全文は多可町議会ホームページを検索

質問議員	質問要旨	掲載ページ
大山由郎	子どもの安全対策は万全か	7
山口邦政	マイナンバーカード普及策は 本人通知制度の取り組みは	8
藤本一昭	早期に橋梁修繕工事の実施を 地方交付税の算定誤りの教訓は（未掲載） 本人通知制度の明確化が必要（未掲載）	9
廣畑幸子	こども医療費助成の緩和を スクールソーシャルワーカーは必要	10
門脇保文	健康ポイント制の導入を 奈義町に学べ	11
橋尾哲夫	人事評価制度の活用は トンネルなどの照明が暗すぎる 漏れた交付税はいつ入るのか	12
酒井洋子	旧八千代北小を複合的施設に プラザでの確定申告は続けるべき	13
笹倉政芳	準中型免許取得に補助制度を 移動しやすいネットワークとは	14
門脇教蔵	特産品開発グループへのサポートは	15
加門寛治	お買い物は町内では	16
市位裕文	天船バイパスに防犯灯の設置を 住宅改修費支給を受領委任制度に	17
吉田政義	こんな時どうする冊子が必要	18
日原茂樹	たかテレビを民間委託せよ 保育士確保はできるのか	19



山口 邦政 議員

問 マイナンバーカード普及策は
答 費用対効果検討し普及策を

山口 マイナンバーカードの申請状況は、29年度末で2067人と浸透が低いです。国では普及のために住民票のコンビニ交付や図書館カードとしての利用、さらには母子健康情報サービスや地域経済応援ポイントへの活用などを勧められており、採用する自治体が出てきています。

当町はどのように取り組むのですか。取り組みメニューは各課にまたがっていると思いますが、連携は十分ですか。

町長

申請は、交付時来庁方式と申請時来庁方式の両方に対応しています。窓口で顔写真の撮影サービスもしています。確定申告時や近隣の高校でチラシを配

布しています。今後あらゆる機会を捉えて働きかけをしていきます。

住民票のコンビニ二交付は、先行自治体では交付発行率が少ないと聞きます。図書館カードも含めて費用対効果を見極めて導入を検討します。

子育てワンストップサービスでの利用は、出生数が少ない当町では、現在の直接面談をして母子健康手帳を交付する方法が、きめ細やかな対応で有効だと考えます。

関係各課よりプロジェクトチームの委員を選出し、役割分担や費用対効果の検討をしています。

問 本人通知制度の
取り組みは

山口 今年の5月末で登録件数が635件と報告がありました。非常に少ないと思います。この現状をどう評価しますか。増加に向けた取り組みは。

答 集会や広報などで
啓発を続ける

町長

登録数は決して高くありませんが県下では4番目に高い数字です。人権関係の集会での呼びかけや広報たかテレビによる啓発を続けていきます。要綱改正をして、郵送での受け付けもしています。3年の有効期限も自動更新とし、その際にお知らせを送り、登録の自覚や知り合いへの声掛けの案内をしています。

自分で登録することにより人権意識の醸成にも繋がりますので、色々な集会やイベントで本人通知制度の啓蒙を進めます。

した。

そこで30年度の点検結果を含めて精査し、31年度に道路橋長寿命化修繕計画を作成します。

各橋梁の老朽度や交通状況を参考にして、緊急性の高い橋梁を定めた上で、点検や修繕の計画的で効率的な対策を進めます。

町長

修繕工事の計画をどのように推進して、橋梁の長寿命化工事を展開するのですか。

橋梁の安全点検により、修繕が必要な橋をどのような計画で長寿命化工事をするのが求められています。

全ての橋梁などは、5年に1度、近接目視による点検が義務づけられて

問 早期に橋梁修繕工事の実施を
答 計画的に対策を進める



藤本 一昭 議員

藤本 国土交通省は、平成26年に道路橋梁の安全定期点検の実施を道路管理者に対して義務づけました。町は、平成26年から計画的に道路橋梁の安全点検を実施してきました。そして町の管理する橋梁は510橋あり、過去4年間に408橋の安全点検が実施されました。国の定める検査結果は

- ① 健全
 - ② 予防保全段階
 - ③ 早期措置段階
 - ④ 緊急措置段階
- の4段階に区分されています。

その結果、④の緊急措置段階の橋はありません。しかし③の早期措置段階の橋は39カ所と報告がありました。私はこの39カ所の橋全部を現地に行き調査してきました。その中で深刻な橋が3カ所ありました。郷領橋・観音寺橋・大日橋は、外観から見ても深刻です。



修繕が待たれる郷領橋



廣畑 幸子 議員

問 こども医療費助成の緩和を
答 必要な施策は検討して実施する

廣畑 こども医療費助成は、0歳児は全て無料。小学3年生までの乳幼児等医療費助成また、中学3年生までのこども医療費助成は、それぞれ所得制限を満たせば外来・入院ともに無料で医療が受けられます。
しかし、この医療費助成は、無料が3割です。所得制限額より少し増えただけで、今まで無料だったものが3割の支払いになると、急激な値上がりにも感じます。子どものことですから、何回医療を受けることになるのか想定できません。
財政の厳しい多可町なので、何段階も作れとは言いませんが、せめて1段階でも作って緩和策をとれませんか。

廣畑 暴力行為やいじめ、不登校などの問題が一層深刻化する中、教育現場での負担がますます大きくなっています。学校だけでは解決できないケースも増加しています。兵庫県では、これらの問題に福祉的な視点が必要とスクールソーシャルワーカー（※SSW）を配置、現場への支援を進めてきました。28年度からは「市町スクールソーシャルワーカー補助事業」を開始し、市町導入も進んでいます。
多可町でも必要と思いますが、現状など聞かせてください。

答 配置は必要
教育長 多可町では以前からSSWが担う役割を果たす職として、学校園アドバイザーを配置しています。現在は、1人で町内の小・中学校8校を担当しています。年々支援を要する児童・生徒として家庭が増えていきますので、SSWの配置は必要と考えています。

※児童・生徒に影響を与えている環境の改善に向けて、学校・家庭・地域の支援ネットワークを築く福祉の専門家のことです。



楽しい学校生活をおくろう



門脇 保文 議員

問 健康ポイント制の導入を
答 前向きに検討する

門脇 万歩計を利用して自分の健康を管理する施策として、ポイント制を導入してはどうですか。加西市では運動ポイント事業に取り組んでいます。同市での成果は、各自が体の状況の変化を把握でき、健康への意識が高まるようになったということです。
また、ポイントは、地元商店で交換でき、地域活性化にもつながっているようです。
楽しんで健康管理ができ、認知症予防などにも役立つような事業を多可町でも導入してはどうですか。

町長 健康ポイントの活用は、健康に無関心だった人のきっかけづくりや行動の継続をけん引する要素として有効だと考えます。
生涯学習課では、スポーツ推進を目的とし、体育協会やスポーツ推進委員会にご協力いただきながら、毎日の歩数の記録などでポイントをため、景品がゲットできる「スポーツDAY」を実施しています。
また、商工観光課で取り組んでいる健康保養地事業では、ウォーキングにより健康寿命を延ばすことや、交流人口の増加を目指しています。
健康に対する意識を高め、さらにたくさんの方に参加してもらえよう、参加者へのポイント加算も考えます。



みんなで取り組む健康づくり

問 奈義町に学べ
門脇 岡山県奈義町は全国に先駆け、平成24年「子育て応援宣言」をし、妊娠出産期から乳幼児期、就学期まで、さまざまな

子育て支援の充実を推進した結果「子育てするな奈義町で」との考えが町民に浸透しました。
また子育て世代の移住者が増加し、平成26年の合計特殊出生率は、日本トップクラスの2.81となりました。
公共施設等再配置計画を前倒しして、まずは財源を確保すべきです。
そして、多可町でも「ゆりかごから墓場までの理念を押し進め、奈義町以上の子育て施策をするべきです。」
答 子育ての町を目指す
町長 行政改革を進める中で、「子育てするなら多可町」と言ってもらえるような町づくりを目指します。



橋尾 哲夫 議員

問 人事評価制度の活用は
答 人材育成昇進などに活用する

橋尾 人事評価制度は、26年度に地方公務員法が改正され、各自治体に導入されました。その制度の狙いは、地方分権の一層の進展による住民ニーズの高度化により、一人一人の職員の能力を高め、高い業績を挙げることです。国の評価はSが最高の5段階です。この評価制度が十分に活用されていないのではないですか。

町長 人事評価制度は、職員一人一人が組織目標の実現に向け最大限に能力を発揮し、町民のニーズに応えるためのものです。28年度から全職員に導入しました。5区分の評価をしています。今後は人事評価制度の整備をして、人材育成、昇進などに活用します。

問 トンネルなどの照明が暗すぎる

橋尾 八千代トンネルの照明が暗すぎて、もう少しトンネル内を明るくすべきです。早急に照明灯を点検し、修理取り換えをすべきです。また、大和地区柳山寺から加西市の峠まで500メートルに1基の街路灯もありません。夜間の運転に支障があります。早急に街路灯を設置するべきです。

答 現在対策中

町長 当該トンネルは、54灯の照明灯が設置しており、その内24灯が消えていました。9灯は玉替えし、残り15灯は10年以上前の部品です。資材の調達が困難で、現在対策中です。また、峠の街路灯は、県から道路の利用状況を考慮すると設置は難しいと聞いています。



安全のためライト点灯しましょう
— 八千代トンネル —

問 漏れた交付税はいつ入るのか

橋尾 昨年に判明した地方交付税漏れ金額2億6700万円は、いつ入るのですか。昨年、町長は30年度会計に入るとの答弁でした。住民は入るのか入らないのか大変心配しています。まだであればいつ確実に入るのですか。

答 本年9月と11月に入る

町長 当該トンネルは、54灯の照明灯が設置しており、その内24灯が消えていました。9灯は玉替えし、残り15灯は10年以上前の部品です。資材の調達が困難で、現在対策中です。また、峠の街路灯は、県から道路の利用状況を考慮すると設置は難しいと聞いています。

財政課長

地方交付税 錯誤分2億6700万円は、本年9月と11月に入ります。すでに地方交付税の基礎数値を報告しており、その中に錯誤分も入っています。その数値を国と県とで確認しています。間違いなく入ります。



酒井 洋子 議員

問 旧八千代北小を複合的施設に
答 活性化に向け協議し公募に臨む

酒井 子育てを多可町でと考える人々が、理想とする緑豊かな場所にある旧八千代北小学校を、図書館とそれに付随する「ミニシアター」「演奏会場」「コンビニ」「カフェ」「手仕事ショップ」など、いろいろなアイデアを盛り込んだ複合的施設にしてはどうでしょうか。

そのことで、現在の多可町図書館の書架スペース不足解消、跡地の有効利用、さらには地元の活性化など、さまざまな課題の解決になります。

町長 現在図書館は30〜40代女性の利用が減っています。そのような人や子どもたちを招き入れるためには、複合施設が望ましいのですが、アクセスの面で多少問題があります。残された時間は短いです。多可町の活性化に向け協議をして公募に臨みます。

今年まで、地域局でできていた確定申告の相談や提出が、次回から本庁舎だけになると聞きました。交通手段がないなどの、どうしても行けない事情の人々への対策を考えていますか。また、このような知ら



ただいま相談中 — 加美地域局 —

答 地域局での提出を残す

完成している書類はお預かりできます。簡易なものや住民税の申告については、ご相談の上なんと

税務課長

せを受け、地域局の役場機能がなくなるのではと不安の声を聞きます。今後の地域局の方向性を示してください。

か良い方法をとらせていただきます。

町長

両地域局は、所信表明でも話した通り、現状の維持をしっかりとしていきます。



議員 笹倉 政 芳

問 準中型免許取得に補助制度を
答 早急に対応策を検討する

【笹倉】①平成29年6月に改正された免許制度では、準中型自動車免許を取得しなければポンプ車の運転ができません。消防庁は、消防団員が準中型免許を取得する時に補助制度を設けている自治体を対象に、費用の一部を負担することを決めています。その対応策は、



郷土愛を胸にがんばる消防団

②団員は活動服1着しかありません。特に操法大会に向けての練習時にはもう1着必要では。③火災発生時には消火栓による初期消火が最も効果的ですが、実際に水を出して訓練をすることは認められていません。有事の時は大変危険です。④兵庫県消防協会では、事業所から特典がもらえ

る消防団員応援事業所モデル事業を実施しています。多可町の進捗状況は、⑤女性団員を募集するなど、団員加入促進に結びつく取り組みは、

問 移動しやすい
ネットワークとは

【笹倉】公共交通網形成計画に、新たに予約型乗り合いタクシーを導入し誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの構築を目指すと思いますが、どうするのですか。

答 予約型乗り合い
タクシーを検討

【企画秘書課長】多可町地域公共交通活性化協議会では、通院や買い物などの移動は予約型乗り合いタクシーを希望されており、事業効果を含め検討を進めています。

①消防団が保有する消防車両のうち、23台が3.5トン以上です。早急に補助制度も含めて対応策を検討します。②着目の活動服を支給することは財政的に厳しいです。退団した消防団員の活動服を、有効活用させていただくことを考えています。③模擬消火栓を活用して水圧を体験する訓練も可能です。④地域の飲食店、物品販売店や事業所などに特典やサービスを提供いただくことで、地域全体で消防団活動を盛り上げ、地域の活性化につながるためにも、商工会と連携し協力依頼をします。⑤団員減少が進む中、他



議員 門脇 教 蔵

問 特産品開発グループへのサポートは
答 女性の活躍雇用の創出の場に

【門脇】ふるさと工房夢蔵は設立21年、かみ特産品クラブは23年、マイスター工房八千代は17年と長きにわたり努力を重ねられ、その間、特産品もいろいろ開発されました。県下はもとより、今では全国的に名が知れ渡り、多可町のPRはもとより地域活性化にも大きく貢献されていると思います。今後どのようにサポートしていくのかを聞きます。

【副町長】各グループには、合併前から非常に長きにわたり活動を継続していただいています。その原動力は、単なる営利目的ではなく、地域貢献、女性の活動の場の創出、そして地産地消や雇用の確保という地元を愛する、多可町を愛するの思いがあつてこそ続けてこられたと思います。町としてもできる限りのサポートをしています。

【門脇】特産品開発グループの育成には、行政からの呼びかけや支援があつたと思います。しかし一部の町民によるチラシで、施設の補助金のあり方について誤解を招いているところがあると思います。施設の利用実態、利用状況、補助金は、どのようになっていますか。

【副町長】現在は契約を結び、施設の修繕や維持管理費用は施設で支出いただいています。町からの金銭的な支援は一切していません。補助指定管理料も支出していません。全て自己管理で経営をされています。光



多可町が誇る特産品



加門 寛治 議員

問 お買い物は町内では

答 経済効果が高まる

加門 「お買い物は町内」この看板を見ながら、「あれっ」と思いましたので、質問します。

①個人で商売している人から買い物をする場合は、その人の所得が上がって、住民税も増えるという考え方でいいのでしょうか。

②法人の場合は、町内に法人の本店があって、町内で商売をしている場合に、町外に法人の本店があって、支店が町内にある場合、均等割と所得割はどうなるのですか。

③具体例を挙げてください。

④「お買い物は町内」の総括をお願いします。

税務課長 ①個人で商売している人から買い物をした場合、個人住民税の所得割の増加が期待できます。

②法人の場合、均等割は、資本金額と町内事業所の従業員数の組み合わせにより金額が決まります。

③法人税割は、国に納める法人税の額に9.7%を乗じた金額となります。ただし、町外にも事業所がある場合、それぞれの従業員数により案分します。

④法人税割は、法人税額200万円として、全従業員数40人、町内10人とした場合、10/40の50万円をベースに9.7%課税で4万8500円となります。

町長 ④地元で買われる物であればお金は地域内にとどまり、またその商品を地元から仕入れていけば地元の仕入れ先へ、地元の人を雇ってあげれば給与として地元の従業員へと渡ります。地元の物や地元の人を雇用していればいけるほど、そのお金は地域内で何回も使われるということになります。

町内での買い物は、町内業者の育成はもとより、経済循環が高まれば高まるほど経済効果も高まります。



市 位 裕 文 議員

問 天船バイパスに防犯灯の設置を

答 必要な箇所の設置を検討する



安全で便利になった天船バイパス

市 位 今回バイパスの開通に伴い一層の安全確保がなされ、地域住民が大変感謝しています。しかしながら夜間の通学路としては、街路灯がないため、大変暗く犯罪の恐れがあり不安視されています。

早急な街路灯設置が望まれますが、町長の見解を聞きます。

町長 多可町街路灯・防犯灯設置要綱に基づき、事業実施は第1種事業と第2種事業に区分しています。今回は第2種事業（町が設置する）として必要と認める箇所の設置を検討します。

今後、住民の安全で安心な暮らしを守るため防犯対策を進めます。

問 住宅改修費支給を受領委任制度に

市 位 多可町では介護保険などの制度を利用し、多くの人が住宅改修をしています。

しかし償還払いのため、改修費全額の用意が必要です。一時的にせよ、多額な費用が必要で断念している人もいます。そこで、受領委任払い制度に改め、個人負担のみで済むようにするべきだと思います。財源的にも先払いか後払いかの違いで済みます。

高齢者、身障者に優しい制度の受領委任払いに改めるべきだと思います。

答 制度上の課題を研究する

町長 ここ数年100件前後の申請があります。償還払いでは、利用者が全額を施工業者に支払

い、領収書の写しを提出してその後国保連合会の審査を経て支給額が決定します。おおむね3カ月かかります。

受領委任払い制度は、県内で約6割弱の市町が導入しています。

ただ施工業者が非課税世帯、保険料の滞納の有無などの個人情報把握が難しくなることになり、これまで以上に、ケアマネジャーのプランの作成にも注意が必要になります。

このような制度上の課題を研究し、実施については検討します。



吉田 政義 議員

問 こんな時どうする冊子が必要

答 関係団体と相談し検討する

吉田 多可町には、人口減少・少子高齢化などの大きな課題があります。課題解決策として「子どもから高齢者までが、安全・安心に暮らせる環境が整った町」「環境面でのサポートのほかに、医療面や金銭面での制度が手厚い町」「定住促進のための住宅施策、子育て支援施策、就業支援施策の整った町」であることなどがあげられます。多可町には「安全・安心」「産業」「暮らし」「子育て」「教育」など、他市町に決して引けを取らない施策・支援制度がたくさんあります。しかしながら、施策・支援が住民には見えておらず、認知度が低いので、周知を徹底すべきです。そのためにも「住むなら絶対多可町」をフレーズに、多可町のいいところ情報・支援策のすべてを掲載した「こんな時どうする」冊子が必要です。

町長 定住移住・結婚・安心して伸び伸び子育てのできる指針にもなります。人口減少・少子高齢化は喫緊の課題です。子育てするなら多可町を目指して、4・5才児の保育料無償化の継続、また子育て世代包括支援センターの開設を予定しています。それが、定住推進にもつながると考えています。平成29年5月に子育て応援プログラムを作成。町内の学校園などに配布し、周知をしています。平成27年11月に発行した「多可町暮らしの便利帳」の改訂も必要になってきています。安全・安心、産業、暮らし、子育て、教育など支援策全てを網羅し、掲載した冊子の作成につき、関係団体と相談しながら検討します。



早く作ってください 改訂版

定住推進課長

「移住応援ガイドブック」を作成しています。

30年度に、事業内容、助成内容を更新して、より分かりやすい改訂版を作ります。

日原 たかテレビは学校行事風景や地域のイベント、講演会などのさまざまな放送をしています。地域の暮らしや交流、住民生活の情報伝達に大きな役割を担っています。取材、編集などの番組制作から放送まで町職員が担当していますが、行事は土日、祝祭日が多いことから、職員の負担は膨大であり、専門的な知識を必要とし、技術革新に対応するのも大変です。局舎の維持管理や撮影・編集機材の更新にも多大な経費を要します。地域情報の発信は必要ですが、管理経費の節減施設の専門性、特殊性を考慮し、番組制作業務を民間に委託してはいかがでしょうか。民間事業者の企画能力、ネットワークなどを活用し情報発信に取り組みべきです。



日原 茂樹 議員

問 たかテレビを民間委託せよ

答 民間の力を導入できるか調査する

町長 6人の正職員が取材、編集などの番組制作から放送ま

で一貫して取り組んでいきます。現在県内の公営ケーブルテレビ局の運営体制を調査していますが、取材から番組編集まで全面的に民間委託しているところはあまりありません。土日、祝祭日の取材、編集を民間に委託しているところはありますので、職員の負担軽減や費用対効果を含めて、民間の力を導入できないかを調査します。

問 保育士確保はできるのか

日原 子育て支援と言えれば保育の充実であり、保育をするためには、高い質で安定した保育人材の確保が求められます。国は保育士確保の対策として、処遇改善を掲げて、年々賃金を増額するなどしていますが、現状はまだまだ厳しいです。来年度から両キッズラ

答 運営法人と連携し確保に努める

教育長

各園とも保育士確保に苦労していますが、今のところは確保できています。両キッズランドは、来年度から民間での運営となりますが、嘱託職員は正規の職員として採用内定をもらっています。公私連携方式ですので、運営法人と連携しながら、また他のこども園とも情報を共有し、保育士の確保に努めます。



楽しいな うれしいね

議会改革をさらに進める

平成30年5月14日～15日に、徳島県那賀町と香川県東かがわ市へ行政視察に行きました。

徳島県那賀町では「住民から期待される議会を目指して」をテーマに議会活性化の取り組みを研修しました。

那賀町の取り組み

意見交換会の開催

従来の議会報告会に替えて、町内の各種団体に向いて対話をする意見交換会の形態としています。

また、特定の団体に属さない住民との意見交換をする場を設けるため、各地区のコミュニティ協議会を仲立ちとした車座会議を開始しています。住民とのワークショップ形式での対話が可能になり、住民の声を直接行政に反映させる体制を整えています。

監査体制の強化

第三セクターの経営体質を問題視した請求や、

指定管理者の指定手続きに瑕疵がなかったかを請求するなど、厳しい体制を敷いています。

議会アドバイザーの設置

議会の活性化、議会運営に関する事項ならびに政策立案に必要な専門的知識を習得するために設置しています。

通年議会の導入

地方分権の進展とともに、二元代表制の一翼を担う議会としての行政監視の必要性は一層高まっています。

緊急時の対応を含め、議会が常に活動できる状態にあることが重要であり、通年で行政監視の体制を整えています。



タブレットを使いながらの研修
— 東かがわ市議場 —

香川県東かがわ市では、タブレット議会の研修をしました。

東かがわ市の取り組み

平成27年8月にタブレット導入を検証することを全議員に諮り、議会改革推進会議で導入の進め方などを検討していきましました。9月にICT推進部会を設置、導入に向け

て取り組みの研究を進め、執行部も含めたタブレット研修会を5回開催し、平成28年4月に導入しました。

導入のポイント

議員主導で進めることで、ICT推進部会には賛成者や知識のある議員だけでなく、反対者や



活発な意見が出た研修 — 那賀町 —

財政の厳しい町ほど危機感を共有し、実のある政策提案をしなければと思います。
一議員の提案に加え、住民の皆さんから寄せられるさまざまな課題に対し、議員間自由討議の場を増やし、もっと踏み込んだ議論を展開し、合意

形成に努め、政策立案につなげていきます。
私たち多可町議会も日々時代の変動を読み取りながら、議会改革を進めていく決意を新たにしました。

CTに弱い議員も入れて議論をし、一番慣れない人に合わせて進めたことです。
また、執行部も同時に導入することを決めていきます。

導入による効果

- ①電子化（タブレット）することで文書検索が容易にでき、資料の整理や紛失防止にもなっています。
- ②印刷が減り、紙の使用も減っています。
- ③メール機能による連絡の強化と簡易化ができています。
- ④常にタブレットを持つことで、いつでも、どこでも最新の資料を見ることができ、住民への回答もスムーズにできるようになっています。

東かがわ市議会では、これまでの運営方法にプラスしてタブレットを使う第一段階を経て、電子化しない文書以外は配布しない第二段階にあります。現在、議会の会議はすべてタブレットを使用し、紙文書が必要な人は自身で用意するところまで来ています。
今後は、第三段階で完全ペーパーレスを目指されているとのこと。
多可町議会でもタブレットを導入し、すべてのことをペーパーレス化して議会運営の効率化、活性化、迅速化に努めていきたいと考えています。
東かがわ市の取り組みは大変意義深いものでした。今後とも研究を重ね、多可町議会のICT化を推進します。

みんなの足を守るために 公共交通の今後を考える

総務文教常任委員会

平成30年4月25日に閉会中の所管事務調査として、企画秘書課より公共交通網形成計画策定について説明を受けました。多可町では、通院や通学また、買い物などの日常生活の移動手段として、「路線バス」「コミュニティバス」「タクシー」などの公共交通が重要な役割を担っています。

しかし、自家用車で移動する人が多い多可町では、公共交通の利用が比較的少ないこと、高齢者ドライバーの事故の割合が増加していることなどから、問題解決として、より移動しやすく利用しやすい交通ネットワークが必要とされています。

多可町が置かれている状況の把握、また住民の

めにも路線バスは維持すべきです。路線バスがなくなると、町は寂れていく一方だと思えます。

問 のぎくバスの更新はどう考えていますか。

答 中型のバスは1台1800万円かかりますので、更新は大変難しい問題です。のぎくバスは5台ありますが、そのうち1台が運行不能となり現在はバス会社にお借りしています。その他のバスも走行距離が80万kmから100万kmで修理代もかなり

今後どうしていくべきなのか、大きな課題です。

今後子どもたちの通学に、不便はかけられません。高齢になったからといって家に引きこもりがちになるのではなく、出かけてもらい、町民みんなが元気の毎日を通して、公共交通の整備に向けて事例を検証し、政策提言をしていきます。(廣畑)



絶対残して 路線バス

5月30日にホテル北野プラザ六甲荘で開かれた兵庫県町議会議長会第69回定期総会では、12人の議員が「15年以上在職功労者」として表彰を受けられました。多可町議会からは、15年以上在職し、功績顕著な議員として、廣畑幸子議員が表彰されました。

廣畑幸子議員が 表彰されました



野生動物の 被害再確認

平成30年4月23日に、兵庫県森林動物研究センター（丹波市青垣町）と養父市に行きました。

生活環境常任委員会

兵庫県森林動物研究センターでは、センターの役割また、県内の農業被害の説明を受けました。27年度の、県内の農業被害は5億8000万円ありました。イノシシの被害が43%、鹿の被害は26%を占めていました。多可町で特に多い鹿の被害ですが、防ぐためには鹿柵が有効です。その他「エサになるものを放置しない」や「恐怖を与える」また「箱わなで捕獲する」などを複数組み

合わせる必要があると言われていました。

また、ここ数年目撃情報が増えているツキノワグマの県内の推定生息数は、600〜1200頭ぐらいと予測されています。クマを集落に寄せ付けないためには、必要のない果樹などを早めに撤去することが最も効果的とのことでした。

昨年はドングリが豊作でクマはあまり出てきませんでした。しかし、今年は大凶作かもしれないと想定して私たちも身の回りの再確認が必要です。

農業特区に等ぶ

国家戦略特区（農業特区）として、全国的にも有名な養父市は大半が中山間地域で、一戸当たりの耕作面積が3〜5反と小規模農家が半数を占めています。

平成25年8月に「農地

多可町高校生議会

日時 平成30年8月22日
午前9時30分
場所 八千代北仮本庁舎
議場

次回9月定例会

日程
平成30年9月9日～
9月28日の予定です。

請願の締切日は、
平成30年8月17日です。

傍聴にお越しください。

兵庫の野生鳥獣害対策シリーズ2016 ①

ニホンジカの被害防止

「仕方がない」から「確かな防除」へ

シカの被害を防ぐには、個人プレーで対応するよりも集落ぐるみの団体戦が効果的です。何をやってダメだとあきらめる前に、シカの生態や対策のポイントを知り、作戦を立て、みんなで話し合ひましょう。

生態と分布 対策を考えるには シカをよく知ることが大切です

何でも食べる厄介者
草食性の動物で、ほとんどの植物の葉や樹皮、根や果実も食べます。環境によって食べるものを変えることができますが、本家は草原の生き物です。

夜に活動
食べは休みを一日中繰り返しています。人間が活動しない夜に人里へ出てきます。

高いジャンプ力
身の危険を感じたときは、2m以上のジャンプ力があり、急峻な斜面も一気に登ります。

エサが豊富なら毎年出産
交尾期は9月中旬～11月上旬。出産は5～6月、1頭を出産します。1歳には性成熟しますが、1歳での妊娠率は頭条件により20～70%程度まで大きく変化します。なお、2歳以上の成熟の妊娠率は、80～90%以上と極めて高くなります。

兵庫県森林動物研究センターより資料提供